

**J-POWERグループに期待する取り組み** [J-POWERグループ サステナビリティレポート2011 読者アンケート]

「特集」について	
ご意見	J-POWERグループの取り組み(ご意見に対する回答)
<p>震災後の会社の取り組み姿勢が分かったことが、大変有意義でした。                      地元で建設中の大間原発について、震災による一時工事停止による、全体計画への影響及び会社経営上の現時点で考えていること等、詳細の情報提供が欲しかったです。</p> <p>大間原子力発電所の建設の進捗状況をもう少し知りたい                      大間原子力発電所の津波対策をもっと詳しく                      原子力発電所の安全性のことをもっと教えてください。</p>	<p>大間原子力発電所では、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、安全強化対策に取り組んでいます。今後も国の方針等も踏まえ、必要な対策について常に適切に反映しながら、安全な発電所作りに全社をあげて取り組むこととしています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P15～P17 「報告 大間原子力発電所について」をご参照下さい。】</p>
<p>脱原子力で発展してもらいたい(原子力発電はやるべきではない)。                      CO2フリーへの活動、原子力依存からの脱却                      電力の安定供給に期待するが、原子力による供給は見直すことが大事(計画の中止)。                      原子力に依存しない、電力の確保に全力を挙げて欲しい。</p>	<p>原子力発電はエネルギーの安定供給の観点から、欠かすことの出来ない重要なエネルギー源であり、地球温暖化問題への対応にも有効であることから、J-POWERグループは青森県下北郡大間町にて原子力発電所の建設を進めています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P15～P17 「報告 大間原子力発電所について」をご参照下さい。】</p>
「経営編」等について	
ご意見	J-POWERグループの取り組み(ご意見に対する回答)
<p>J-POWERが、経営内容を株主に伝えて下さる熱意をありがたく思います。一株主としてのみならず、電力で生活を支えられている一市民として身近に熟読させて頂いています。                      本レポートで事業の理念内容 判らなかつた事がよく判りました。企業内容が理解出来た事で今後の投資家としての協力意欲が増したところです。今後も貴社経営を見守っていきま                      株主が安心できる安定した経営のあり方、取り組みについてその信念、覚悟など語って欲しい                      電気という公共性の高い企業ではあるが、ガバナンス、コンプライアンスに注力しつつ、資本主義下の企業としての利益の極大化も実現してもらいたい。</p>	<p>J-POWERグループは、「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念のもと、「J-POWERグループ企業行動規範」に従い、確固たる遵法精神と倫理観に基づく、誠実かつ校正な活動を率先垂範し、従業員への浸透を図っています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P19 をご参照下さい。】</p>
<p>先に発生した磯子火力発電所の火災事故については、徹底した原因究明と再発防止対策を構築願いたい。                      磯子火力発電所のベルトコンベア火災事故は二度と起こさない様、電力安定供給に努めてください。                      内容は理解出来たので、更に事業を押し続けてほしいが、安全第一を心がけて欲しい。磯子のベルトコンベアの火災が大事にならなかつたのが幸いだが、心して欲しい。</p>	<p>2011年11月24日、磯子発電所において構内火災が発生しました。火災の原因究明及び再発防止策を行い、今後このようなことの無いよう取り組んでまいります。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 / P28「ご報告 磯子火力発電所の構内火災について」をご参照下さい。】</p>
<p>情報は常にオープンにして下さい                      たいへん電力業界は厳しい目が世間からそそがれています。透明性をもって、さらに情報公開をすすめていただきたい。</p>	<p>社外への情報開示に関しては、企業活動の透明性とステークホルダーの向上を図るため、社長を委員長とした「情報開示委員会」を設置し、積極的、公正かつ透明な企業情報の開示を適時に実施しています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P20 をご参照下さい。】</p>
<p>積極的な企業活動のPR。株価向上策の推進。                      株価が上昇するような具体的な対処をお願いします。                      まずは業績の更なる向上を、そして株主還元策の充実を希望したい。(株主として)。                      株主とのコミュニケーションを深めるように今後も続けて下さい。株主対策について誠意が見受けられます。                      これからの企業・グループだと思っています。株主等に対する接し方も気持ちの良いものであり好感を抱いている。</p>	<p>J-POWERグループでは、会社情報の適時適切な開示を行うとともに、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションの重要性を認識し、事業活動への理解を深めていただくため、様々な活動を実践しています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P41 をご参照下さい。】</p>

「社会編」について

ご意見	J-POWERグループの取り組み(ご意見に対する回答)
<p>今回は特に東日本大震災がありましたので、私達に直接影響があります電力供給について改めて考えさせられました。貴社の努力がよくわかります。頑張ってください。 「電力の安定供給への取り組み」について大変嬉しく思いました。今後も充実させて欲しい。電力の安定供給の取り組みに期待します。電気は生活の進化の源です。なくてはならないものです。 電力自由化の動きに合わせ、地域小規模発電への関与など、検討できないだろうか。今後電力設備の増強に対し一番に取り組むのは何か、そして無くす方向は何か、持続していくのは何か、順番が知りたい。 日本の電力の供給に今後も取り組んで経済発展に寄与して下さい。 東北地方太平洋沖地震にかかる被災地にむけた電力供給支援に今後も継続的に取り組みが重要と考えます。また全国の電力系統を結びさらなる対策を実施して最大限の努力を続けたいです。 計画停電により電力がどんなに大事かを知りました。色々ありますが大間が早く作動して地域の人を安心させて欲しい。</p>	<p>「人々の求めるエネルギーを不断に提供する」ために、私たちJ-POWERグループがなすべきことは、第一に電力の安定供給に貢献することです。震災により今なお供給力不足の状況にある東日本地域はもとより、原子力発電所の稼働停止により需給バランスがタイト化している西日本地域においても、私たちは全国に所在する当社グループの水力・石炭火力発電所や基幹送電線等の電力設備の機能を十二分に発揮し、電気事業者としての責務を果たしてまいります。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P5~6 をご参照下さい。】</p>
<p>水力発電所(ダム湖)のサステナビリティについて、詳細なご説明を期待します。 身近なところの水力発電所の状況が知りたいですね。JPOWERを知る近道になりますので...</p>	<p>J-POWERグループでは、全国59カ所に水力発電所を保有し、変電所・変換所とあわせ、全国3つの地域制御所にて24時間体制で集中制御を行っています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P26 をご参照下さい。】</p>
<p>海外での取り組みを非常に興味深く読ませていただきました。 海外進出をもっと積極的に取り組んで欲しい。 J-POWERは、海外のエネルギー効率向上に活用できる技術をもつ貴重な存在なので、海外に技術をうまく導出して行ってほしいです。 第2の柱としての「海外発電事業」の拡大 海外事業の経営戦略に期待しています。 日本の培った技術を海外に活用して、持続可能な発展に取り組んでくださるよう希望します。 人口が増加し、電気需要が見込まれる東南アジア各国へのノウハウの販売を積極的に推進していただきたい。 国際的なインフラ整備を更に展開して頂きたい。世界に「うって出る」J-POWERを期待しま日本人らしく、地味であっても高度な技術開発を行って世界に進出してもらいたい。</p>	<p>J-POWERグループは企業理念の「日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という基本的な考え方のもと、海外における約50年の実績やノウハウを存分に活かして、海外コンサルティング事業、および海外発電事業に取り組んでいます。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P33~P34をご参照下さい。】</p>
<p>地域とのコミュニケーションの充実。さらなる発展・拡大を期待。</p>	<p>J-POWERグループは、幅広いステークホルダーに支えられる存在であり、これからも皆さまの信頼を得られるよう、誠実を旨とした事業活動を行うと共に、コミュニケーションの充実に努めていきます。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P35 をご参照下さい。】</p>
<p>中核となる女性社員の育成と定着できる組織作り 社員育成、技術力のアップ</p>	<p>J-POWERグループでは、全従業員が複数の専門的知識と技能を磨き、広い分野に立つて組織の目標達成に貢献する少数精鋭の自立型人財となることを目指しており、そのために効果的な育成・研修体系としてCDPを導入しています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P44 をご参照下さい。】</p>

「環境編」について	
ご意見	J-POWERグループの取り組み(ご意見に対する回答)
<p>地球環境問題への取り組みは世界に展開できる企業を目指して欲しい 地球環境と人々の生活向上に寄与する電力供給事業者として叡智の発揮を着実に構築し、サステナビリティな発展に貢献する企業 発電技術(設備等含)をより向上して、発電量のアップをはかりながら環境にも留意していく。 地球環境問題に取り組みながら、エネルギーの安定供給を確保することに期待します。 石炭利用と地球温暖化対策に一層の努力を期待します。 J-POWERの火力発電効率は世界に誇れるトップクラスであると認識しています。この技術をグローバルに展開し、日本の発電技術の素晴らしさをアピールして下さい。</p>	<p>J-POWERグループは、エネルギーの安定供給に向けて最大限の努力を傾注するとともに、低炭素化に向けた取り組みを国外で着実に進め、地球規模でCO<sub>2</sub>排出の低減に貢献していきます。そのため、「石炭火力発電の低炭素化の推進」「次世代の低炭素化技術の研究開発」「CO<sub>2</sub>フリー電源の拡大」等により、中長期視点から「技術」を核にして、日本と世界のエネルギー安定供給とCO<sub>2</sub>排出の削減に取り組んでいきます。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P55 をご参照下さい。】</p>
<p>太陽光・地熱など自然エネルギーに対する取組みをもっと詳しく知りたい。 太陽光、風力、波力発電等についても研究してもらいたい。 風力、潮流にての自然エネルギー発電の取組みについて 水力発電、風力発電、海波発電、地熱発電等への研究・実施をすべきと考へます。</p>	<p>J-POWERグループは、CO<sub>2</sub>を排出しない電源として、水力や風力、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギー等の拡大に取り組むことで、CO<sub>2</sub>排出の抑制を図っています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P63 をご参照下さい。】</p>
<p>下水汚泥燃料化について、コストや地域の拡大はできるのか？ 廃棄物のガス化利用、東北大震災のこともあり日本国の為にもエネルギー活動をよろしくお願ひします。</p>	<p>J-POWERグループは、未利用のバイオマス燃料の活用と石炭火力発電の低炭素化の同時達成を目指し、諸課題に取り組みながら、バイオマス燃料の製造、石炭火力発電所での混焼を推進しています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P59～60 をご参照下さい。】</p>
<p>地熱発電に関するお考え方についても知りたいと思いました。 自然エネルギー(地熱)発電を推進 火力列島の我が国の自然エネルギーの活用に注力し地熱発電所の研究実施に努力して欲副産物(水、肥料、燃料、生物)の活用が求められる。</p>	<p>J-POWERグループは、CO<sub>2</sub>を排出しない電源として、水力や風力、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギー等の拡大に取り組むことで、CO<sub>2</sub>排出の抑制を図っています。【J-POWERグループサステナビリティレポート2012 /P66 をご参照下さい。】</p>

本レポートの改善すべき点など [J-POWERグループ サステナビリティレポート2011 読者アンケート]

「レポート編集」について	ご意見	J-POWERグループの取り組み(ご意見に対する回答)
	<p>大変充実していて良いのですが、製作にコストがかかりすぎているのでしょうか。</p> <p>内容が少し詰め込みすぎの感じがする。ただ、非常に真面目な内容で好感が持てる。活字をもう少し大きくしてはどうか。</p> <p>レポートが詳細過ぎる感があり、もう少し簡素化しても良いのではと思う一方、中身は大変充実しており分かり易い。</p> <p>内容、情報量も多く充実したレポートだと思いました。</p> <p>ただ、字数も多く、詰まりすぎており、読むのに疲れを感じる。</p> <p>もう少し、全体のレイアウトに余裕をもたせたらと思います。</p> <p>もっと量を絞ってください(減らしてください)。写真は百聞は一見にしかずで、歓迎します。</p> <p>あまりに詳しくすぎる。一般的には不適。読ませる努力が不足か？グローバルエッジは面白く読ませて頂いている。</p> <p>一般の人が読むには量が多すぎる。同時に内容が専門的すぎて、理解するのに時間がかかる。対象を一般の人にするのなら、ページ数を半分、表現を容易にした方が良いでしょう。</p> <p>レポートの紙質が上等すぎるように思います。エコにしてコストダウンしてはいかがでしょうか。</p>	<p>J-POWERグループの事業活動は、「エネルギーと環境」の両分野に深く関わっていますので、サステナビリティレポートの記載にあたっては正確性を確保することが重要であり、そのため文章量が多くなる箇所もありますが、図表や写真のレイアウトなどの視覚的な見易さを意識し、出来るだけ理解し易い内容となるよう務めています。</p> <p>また、従業員による内容の紹介を記載するなど、親しみやすいレポートの制作を心掛けています。</p>
	<p>サステナビリティレポートの意義をグローバルエッジなどの広報誌と区別して考えるなら既に対応ができています点だけでなく、当面する課題や問題点の認識についても触れるべきと考えます。</p> <p>他のレポートと重複した内容もあるようです。レポートの集約をした方がわかりやすいと思います。</p>	<p>サステナビリティレポートは、アニュアルレポートのように財務情報について詳しく記載されておらず、非財務情報、および環境に関する情報について詳細に記載しております。</p>
	<p>専門的な用語には用語解説があり、大変理解し易い内容でした。IGFCの説明はIGCCのように図示されていれば更に理解が高まると思います。</p> <p>用語解説は貴重な編集です。大いに活用しています。</p> <p>用語集に説明があるが、カタカナ英文で部外者には分かりにくい用語があるので、なるべく日本語にするか、用語集に追加してもらいたい。</p>	<p>サステナビリティレポート巻末の「用語解説」のほか、本書の各ページ下段(欄外)に「Dictionary」として用語の解説を掲載しています。</p> <p>また、より詳細な内容を閲覧できるようにホームページのURLも掲載していますので、あわせてご活用ください。</p> <p>今後とも分かり易い内容となるよう努力してまいります。</p>
	<p>地域活動についてももう少し写真で知りたかった</p> <p>非常に読みやすく分かりやすく良かったと思います。</p> <p>アニュアルレポート 立派です。中身充分活用できます。ありがとうございます。</p> <p>サステナビリティレポート2011の用語解説により、内容が一層理解でき、良かった。</p> <p>すべてに良い気持ちで目とおすことができました。</p> <p>写真が多く図解も多い為大変わかり易く書かれている。</p> <p>余り関心のなかった者ですが、レポートによって興味を持つてきました。</p> <p>充実しており、次号のレポートを楽しみにしております。</p> <p>今後も日本のエネルギー事情の解説などと貴グループの取組を分かりやすくお願いします(ANNUAL REPORT2011他)</p> <p>送付されたパンフレットやレポート等、大変「学」や「実」、メカカツ物、掲載されていて、記事等の波及は高い。この先も株主の高齢にも対応した具体的なレポート等を期待したい。冊子折込のニュースリリースは特に分かりやすくお願いします。</p>	<p>読者のみなさまよりいただきましたJ-POWERグループ サステナビリティレポート2011に対する貴重なご意見を、大切なメッセージとして受け取り、今後のレポート作成や事業活動に役立てていきます。</p>